



ヒトラー台頭前のドイツで格差の拡大や権力の不正を強烈に皮肉り笑い飛ばしたブレヒトの

『三文オペラ』

は笑える音楽劇ですが、格差が広がり権力が放縱に振る舞いつつある今の日本で、とても現代的なお芝居です。音楽は生演奏です。

2018年2月17(土)・18(日)・23(金)・24(土)・25日(日)、
全日14時開演。会場は鳥の劇場。

どんな大雪でも上演を行います。

BIRD Theatre Company TOTTORI

The Threepenny Opera

Based on the play by Bertolt Brecht

Translation by TANIGAWA Michiko

Script and Direction by NAKASHIMA Makoto

Music by Ensemble Kokopelli

2:00PM on 17th, 18th, 23rd, 24th, 25th Feb 2018

Place: BIRD Theatre

1812-1 Shikano, Shikano-cho, Tottori City, Tottori Prefecture 689-0405

Tickets

19 years old and over, 2000yen

16 to 18 years old, 500yen

*Junior high school pupils and under, free admission

Contact

E-mail: info@birdtheatre.org

Telephone: 0857-84-3268

Website: www.birdtheatre.org

English
Subtitles
available

『三文オペラ』

2018年2月17(土)・18(日)・23(金)・24(土)・25(日)
全日14時開演

原作：ブレヒト 翻訳：谷川道子 台本・演出：中島諒人 音楽演奏：アンサンブル・ココペリ

タクシーの運転手さんに「今度はどんな芝居をやるんですか?」と聞かれた。「ブレヒト」とか「三文オペラ」と答えても普通は誰も知らないで、「今の世の中、経済の格差は広がるばかりだし、大企業や政治家もインチキばかりって感じじゃないですか。」「ああ、そうですねえ。」「で、そういう世の中のことを笑い飛ばしつつ考えるような芝居をやるんですよ。二月です。」というような会話をした。ブレヒトはこの戯曲を1928年にドイツで書いた。約90年前。当時のドイツと90年後の日本の状況が似ていると、私は思っている。運転手さんは、鳥の劇場のことは知ってくれていたが、まだ芝居は観たことがないらしい。中学の時に学校で観たトルストイ『戦争と平和』の芝居は、今でも心に残っていると教えてくれた。今は本当に厳しい時代だが、その厳しさが人をつないでくれることもある。「今度は行きます。」と、運転手さんは言ってくれた。うれしかった。どんな大雪でもやります。夜は道が凍るので、夜の公演はありません。全公演午後二時からです。

(演出家／鳥の劇場芸術監督 中島諒人)

〈あらすじ〉新女王の戴冠式の近いロンドン。稀代の悪党ドスのメッキース。高級ホテルに出入りし、白い革手袋に、象牙のステッキの紳士だが、犯した罪は数知れず、殺人、傷害、暴行、監禁、誘拐、強姦、詐欺、放火などなど。彼がどういふ訳だか若い娘と結婚する。娘は、多くの乞食を束ね、市内に差配してその上前をはねる乞食商会の社長の一粒種。突然の犯罪者との結婚に怒った社長夫妻。メッキースの所在を警察に通報し、逮捕、離婚、ついでに報奨金を得ようと企む。メッキースは、警視総監とコネを持っている。犯罪者、貧困ビジネスの元締め、警視総監、さらに乞食、娼婦が入り乱れて、各々の欲望をぶつけ合う。

ベルトルト・ブレヒト (Bertolt Brecht, 1898 - 1956)

ドイツの劇作家、詩人、演出家。1922年に上演された『夜うつ太鼓』で一躍脚光を浴びる。代表作に『三文オペラ』『肝っ玉お母とその子供たち』『ガリレイの生涯』など。第二次大戦中はナチスの手を逃れて各国で亡命生活を送り、戦後は東ドイツに戻り劇団ベルリナー・アンサンブル (Berliner Ensemble) を設立、死去するまで活動拠点とした。役への感情移入を基礎とする従来の演劇を否定し、出来事を客観的・批判的に見ることを観客に促す「叙事的演劇」を提唱。その方法として、「異化効果」を始めとするさまざまな演劇理論を生み出し、第二次世界大戦後の演劇界において大きな影響力を持った。

チケット料金

大人:2,000円／18歳以下:500円／中学生以下無料

チケットのご予約は、電話、ウェブ、電子メールでお受けします。
料金をご来場時にお支払いください。

電話／0857-84-3268

ウェブ／www.birdtheatre.org

電子メール／ticket@birdtheatre.org

予約受付は
1月10日(水)
10時より

戯曲講座3

ブレヒト『例外と原則』を読んで演じよう!

日時:2018年1月13日(土) 13:00~16:00

会場:鳥の劇場 料金:1,000円

お問い合わせ・お申込みは鳥の劇場 (0857-84-3268) まで

主催:特定非営利活動法人鳥の劇場

後援:鳥取県 鳥取市 鳥取県教育委員会 鳥取市教育委員会 NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会 鳥取大学地域学部附属芸術文化センター 新日本海新聞社 株式会社ふるさと鹿野

助成:平成29年度文化庁 劇場・音楽堂等活性化事業 公益財団法人ごうざん鳥取文化振興財団

上演をもっと多くの方に楽しんでいただくために



送迎します

JR浜村駅と劇場との間を車で送迎いたします。(無料、要予約)



託児します

小さいお子さまをお預かりします。(無料、要予約)



鳥のカフェがあります

上演の前後にコーヒーや各種ソフトドリンクなどを販売いたします。



バリアフリーをめざします

障がいのある方にもご覧いただけるよう、適宜対応しております。ご連絡をください。



字幕あります

セリフが聞こえづらい方のために、手に持てる小さい「字幕」をご用意しております。



English Subtitles available

海外からのお客さまにも上演を楽しんでいただけるよう、英語字幕をご用意しております。

鳥の劇場へのアクセス

鳥取県鳥取市鹿野町鹿野1812-1 電話:0857-84-3268

■JRを使って

劇場の最寄り駅はJR浜村駅です。※公演日は浜村駅と劇場の間を、車で送迎いたします(無料、要予約)。

- 浜村駅まで・鳥取駅から、山陰本線、米子方面行きで30分
- ・倉吉駅から、山陰本線、鳥取方面行きで25分
- ・米子駅から、山陰本線、鳥取方面行きで1時間40分
- 浜村駅から・車で15分

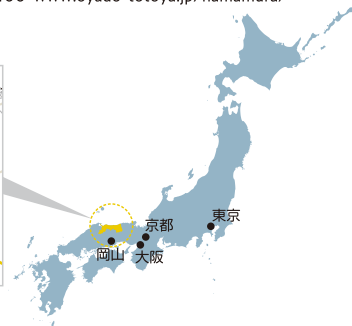
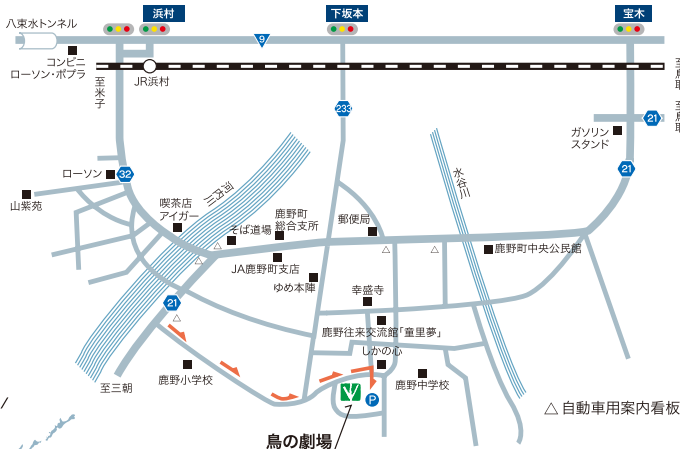
■車を使って

公演日は会場近くに案内看板を設置します。

- ・鳥取自動車道、鳥取西ICから約30分
- ・鳥取空港から約30分
- ・鳥取市中心部から約40分
- ・倉吉市中心部から約50分
- ・米子市中心部から約1時間30分

※ご宿泊について

- 山紫苑 0857-84-2211 www.sanshien.jp
- お宿夢彦 0857-84-2411 www.yumehiko.co.jp
- 旅風庵 0857-82-0531 www.ryofuan.com
- 浜村温泉 魚と屋 0857-82-2400 www.oyado-totoya.jp/hamamura/



- 東京 飛行機 約1時間15分(羽田空港-鳥取空港)
JR 約5時間30分(東京駅-鳥取駅)
- 京都 JR 約3時間(京都駅-鳥取駅)
車 約3時間(中国自動車道-鳥取自動車道)
- 大阪 JR 約2時間30分(新大阪駅-鳥取駅)
車 約2時間30分(名神高速道路-中国自動車道-鳥取自動車道)
- 岡山 JR 約2時間(岡山駅-鳥取駅)
車 約2時間45分(国道53号-鳥取自動車道)

東京・大阪・神戸・京都・広島・福岡の各都市と鳥取の間で高速バスが運行しています。